

2024年9月2日

各位

エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社

2024年 8月度 売上速報

■ 百貨店事業

阪急阪神百貨店	売上高前年比(%)
阪急本店	115.5
阪神梅田本店	109.6
支店計	105.2
全店計	111.1

※2022年3月期より「収益認識に関する会計基準」を適用しておりますが、月次の売上速報および営業概況につきましては、当該基準等適用前の取扱高で開示しております。

○ 全店の概況

- 月末に台風10号が西日本を横断し、その影響で博多阪急が29日と30日を臨時休業。
- 大阪では月前半がほぼ連日の猛暑日であったが、お盆休みの日まわりも良く(最大9連休)、都心店を中心に来店客数は順調に推移。盛夏ファッションが引き続き好調ながら、台風の低速な進行が月末の来店客数と売上の押し下げ要因となり、全店売上高は前年に対して約1割増の結果。
- 免税売上高は前年に対して約5割増、阪急本店は約6割増と引き続き好調で、同月の売上高では15ヶ月連続で過去最高を更新。

○ 阪急本店の概況

- 8月として過去最高の売上高を更新。
- 婦人ファッション全般が好調で、前年売上高に対し2割を上回る伸びを示した。中でも、バッグの売上は前年の約4割増と牽引。盛夏ファッションが引き続き活況で、盛夏アイテムの足し込みをはじめ、夏の定価商材の販売強化に取り組んだ婦人服は好調を継続、クリアランススタートも後ろ倒ししたことで8月におけるセール売上のかさ上げにつながった。服飾雑貨では、8月1日からクリアランスが始まったパラルル、帽子に加え、特にサングラスが売上を牽引。また、革小物やバッグなどでは、秋の新色や新作の入荷が本格化し反応が良い。
- 宝飾品の売上も前年の約4割増と高い伸びを示し、それに伴い100万円以上の高額品の売上高も前年の約2割増と好調な結果。

※過去1年間の売上高推移

前年比(%)

	2023年度					2024年度							
	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
阪急本店	125.9	126.1	116.7	116.1	115.1	120.2	132.0	130.0	129.6	146.1	137.7	120.3	115.5
阪神梅田本店	133.5	158.3	104.4	150.0	111.9	117.6	119.1	107.0	105.8	108.8	109.2	105.3	109.6
支店計	118.4	116.3	110.8	112.0	108.5	110.0	115.5	111.4	110.4	112.0	116.7	107.5	105.2
全店計	123.8	126.3	113.2	118.0	112.3	116.0	124.5	119.9	119.9	129.1	127.1	114.1	111.1

■ 食品事業

イズミヤ・阪急オアシス	売上高前年比(%)
全店計	103.5

関西スーパーマーケット	売上高前年比(%)
全店計	101.6

★数値は速報値のため、確報値とは誤差が生じることがあります。

<本件に関するお問い合わせ先>
エイチ・ツー・オー リテイリング株式会社 メディアリレーション部 TEL:06-6367-3181